

高等学校 令和6年度（2 学年用） 教科 外国語(英語) 科目 論理表現Ⅱ

教 科： 外国語(英語) 科 目： 論理表現Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1， 2 組： 都築 池上 本多）（3 組：都築 池上）（4， 5 組：本多 縫村 村井）（6， 7 組：都築 縫村 村井）

使用教科書：（ be English Logic and Expression I Clear / be English Logic and Expression II Clear ）

教科 外国語(英語) の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】言語や文化に対する理解を深める
- 【思考力、判断力、表現力等】論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】コミュニケーションを図ろうとする態度を養う

科目 論理表現Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けて粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
1 学 期	【知識及び技能】 仮定法について学んで理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・直説法と仮定法仮定法過去 仮定法過去完了未来を表す仮定法 wish, asを使った仮定法 【学びに向かう力、人間性等】 自分のことを表現するために、主 体的かつ協働する姿勢が見られ る。伝えることを意識して文章を 書いている。	直説法と仮定法仮定法過去 仮定法過去完了未来を表す仮定法 wish, asを使った仮定法	○	○	○	○	○	・仮定法の基本的な用法を身につける If S+V (過去形)～仮定法の様々な用法を習得 する I wish /as if ・仮定法について学んで理解する。 ・仮定法を用いて文を作る。 ・条件にそってエッセイを書くことがで きる				5
	【知識及び技能】 ・文型、英語語法について学ん で理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文型、英語語法を用いて文を作 り表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分のことを表現するために、主 体的かつ協働する姿勢が見られ る。伝えることを意識して文章を 書いている。	伝えるための表現活動（場面設定 におけるやりとり、発表、書くこ と）において、以下の文法事項を 活用し、論理的に情報を伝える表 現を学ぶ。 動詞の語法、文型 時制	○	○	○	○	○	・様々な形の英語の表現を理解する。 ・英語の語法に慣れる ・様々な時制の表現を理解することがで きる。 ・様々な時制を使って自分の言いたいこ とを表現できる。				6
	中間調査		○	○	○	○	○		○	○		1
	【知識及び技能】 受動態を用いた表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 受動態を用いた表現を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分のことを表現するために、主 体的かつ協働する姿勢が見られ る。伝えることを意識して文章を 書いている。	伝えるための表現活動（場面設定 におけるやりとり、発表、書くこ と）において、以下の文法事項を 活用し、論理的に情報を伝える表 現を学ぶ。 受動態	○	○	○	○	○	・受動態の基本的な形と意味を覚える。 ・受動態を使う場面を理解し、適切に使 うことができる		○	○	7
	【知識及び技能】 準動詞を用いた表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 準動詞を用いた表現を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分のことを表現するために、主 体的かつ協働する姿勢が見られ る。伝えることを意識して文章を 書いている。	伝えるための表現活動（場面設定 におけるやりとり、発表、書くこ と）において、以下の文法事項を 活用し、論理的に情報を伝える表 現を学ぶ。 不定詞 動名詞 分詞	○	○	○	○	○	・準動詞の基本的な形と意味を覚える。 ・準動詞を場面に応じて適切に使うこ とができる。 ・条件にそってエッセイを書くことがで きる		○	○	7
	期末調査		○	○	○	○	○		○	○		1

[illegible]